

2022.11.11

「Partnership for Carbon Accounting Financials」(PCAF)への加盟について

株式会社しずおかフィナンシャルグループ（社長 柴田 久）では、投融資先の温室効果ガス排出量の測定・開示の取り組みにかかる国際イニシアティブである「Partnership for Carbon Accounting Financials」（以下、PCAF）に加盟しましたので、お知らせします。

PCAFは、2015年に、投融資先の温室効果ガスの排出量の測定・開示を標準化することを目的として発足した国際的な機関です。2020年11月に、金融機関の投融資ポートフォリオにおける温室効果ガス排出量を計測するための世界初の標準的な手法として「Global GHG Accounting and Reporting Standard for the Financial Industry (PCAF Standard)」を開発しています。

現在、アフリカ、ヨーロッパ、北米、中南米およびアジア太平洋地域から300を超える金融機関が加盟しており、急速にネットワークを拡大しています。

今後は、PCAFが保有する知見やデータベースを活用し、投融資先の温室効果ガスの排出量の測定・開示に向けた取り組みを一層進めるとともに、PCAFに加盟する金融機関との連携を通じて、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

<ご参考>しずおかフィナンシャルグループにおける脱炭素化に向けた取り組みについて

2020年に気候変動が企業の財務内容に与える影響について適切な情報開示を求める「TCFD提言」に賛同し、気候変動シナリオ分析の高度化など、地域の脱炭素化に資するさまざまな施策に取り組んでいます。

また、こうした活動をさらに加速させるため、2022年5月には、グループにおける温室効果ガス排出量のネットゼロをめざす「2030年度カーボンニュートラル達成」へと目標を引き上げるとともに、グループの総合金融サービスやコンサルティング業務を通じてお客さまの脱炭素化に向けた取り組みを支援するなど、地域とともに持続可能な社会の実現に積極的に貢献しています。